



◆ 市民参加型 市政づくり ◆ 民進・無所属の会会報

発行所

鹿児島市議会民進・無所属の会議員団
〒892-0816 鹿児島市山下町11番1号
TEL・FAX099-224-7353 内線4061・4062・4063
mail:minyu-01@kagoshimashigikai.com

鹿児島市議会議員

さんたんぞの

三反園 輝男

議会報告

平成30年度当初予算

(単位:千円、%)

会 計	平成30年度 (A)		平成29年度 (B)		比較 (A-B)	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	250,986,000	57.2	241,127,000	54.5	9,859,000	4.1
特 殊 要 素						
29年度前倒し分	1,455,474	-	-	-	1,455,474	-
28年度前倒し分	-	-	3,752,791	-	△3,752,791	-
※特殊要素を考慮した場合の一般会計	252,441,474	-	244,879,791	-	7,561,683	3.1
特 別 会 計	124,031,000	28.2	138,001,000	31.2	△13,970,000	△10.1
企 業 会 計	63,963,000	14.6	63,067,000	14.3	896,000	1.4
合 計	438,980,000	100.0	442,195,000	100.0	△3,215,000	△0.7

平成三十年度当初予算

平成30年度の一般会計は過去最高の2,509億8千万円となりました。また、特別会計、企業会計を合わせた総額は4,389億8千万円となりました。

平成三十年第一回鹿児島市議会定例会は二月十三日から三月十二日まで開催されました。今回提案された平成二十九年度補正予算、平成三十年度予算など六十七議案をそれぞれ原案どおり可決・同意しました。これまで長きに渡って協議してきた議員定数削減について、今の議会構成の責任において、将来に渡って同様の議論を繰り返さないために、将来の人口動態や財政状況等を総合的に勘案し、より効率的な議会運営と市民意見のさらなる反映・議員資質向上を目指し、議員定数を五十人から四十五人に改めました。主な議案は以下の通りです。

平成三十一年第一回定例会終了

議員定数を削減

議員定数を50人から45人に改めました。
(次の一般選挙から適用)

第五次鹿児島市総合計画に
基づく第4期実施計画
を策定

計画期間・平成30年度から平成32年度までの3年間
事業数 新規事業…87事業、
拡充事業103事業、継続事業908事業、
合計1098事業
計画期間中の事業費
3,675億53百万円

桜島フェリー運賃
キャッシュレスシステム
を導入

フェリー利用者の利便性の向上と利用促進を図るため、

クレジットカードや交通系ICカードでの運賃の支払いができるシステムを導入します。利用できるカード…各種クレジットカード、交通系ICカード(PASMO、Suica等)サービス開始時期…

平成30年9月(予定)

農業振興地域整備計画を
改訂

守るべき優良農地を明確化し、今後の農地の有効活用に向けた各種施策を計画的かつ集中的に実施するため、農用地区域の線引き見直しを伴う農業振興地域整備計画の改訂を平成30・31年度で行います。主なスケジュール…30年度現地調査、意向調査、基礎調査・基礎資料の作成
31年度、住民説明会、県との協議、整備計画変更の決定公告

主な新規事業

かごしまの魅力発進!

オリジナルナンバープレート

導入事業

本市の魅力を広く発信するため、「鹿児島市らしさ」を表現したデザインの原動機付自転車用オリジナルナンバープレートを交付します。

出会いサポートイベント
開催事業

結婚を希望する人に対し、出会いの場として新たなイベントを開催し、婚活をサポートします。

児童相談所設置検討事業

児童虐待対策を強化するとともに、子育て支援として相談しやすい体制のさらなる充実を図るため、児童相談所の設置について、有識者等による検討を進めます。

よりよい教育環境づくり
推進事業

よりよい教育環境づくりに向け、学校規模適正化・適正配置に関する基本方針について、市内全域で説明会等を実施します。

地域の文化芸術サポート
事業

市民文化祭等を文化団体と共催するとともに、自主的な文化活動を活性化するため、新たに文化団体等が企画する事業に対して助成します。

若者未来会議(仮称)
開催事業

若者の発想や行動力をまちづくりに生かし、人材育成につなげるため、若者が活躍できる地域づくりをテーマとして、若者未来会議(仮称)を開催します。

主な代表質疑

問 第五次総合計画における第3期実施計画の総括は

答 第3期実施計画に掲げた新規・拡充176事業のうち、

172事業は「完了」または「実施中」であり、実施しなかった4事業の中で、2事業については、30年度以内に実施することとしており、残る2事業は、社会情勢の変化など外的要因により見直したところである。

問 サッカー等スタジアム整備における「オール鹿児島」の構想は

答 本市のスポーツを通じたまちづくり推進の中核施設として、また地域活性化の起爆剤として、様々な波及効果を生み出す可能性のある施設であることから、広く官民の関係団体等で知恵を出し合いながら、「オール鹿児島」で取り組む必要があると考えている。

問 基金の残高の捉え方と今後の見通しは

答 基金は、社会保障関係費や災害対応などの財政需要に対応していくためのものであり、将来に備え、これまで効率的で無駄のない財政運営に努めてきた成果が基金残高として表れ

ている。本市を取り巻く財政環境が一段と厳しくなることが予想されることから、引き続き残高に配慮し年度間の財源調整機能を果たせる額を確保していきたい。

問 本市でのアベノミクスの成果の実感

答 安倍政権の発足以降、本市の景気は緩やかな回復が続いており、雇用環境が改善されるなど、一定の効果は表れているものの、有効求人倍率や最低賃金は全国に比べ低い状況にあり、それを実感しにくい情勢が続いているものと認識している。

問 新設される移住推進室での具体的取組みは

答 新たに移住支援コーディネーターを配置し、移住希望者への相談・受入態勢を充実するとともに、本格化する「生涯活躍のまち」構想等の具体化を図ることとしており、地方創生総合戦略において、本市の関連施策を通じた移住者数を年間50人とする目標を設定している。

問 市立中・高等学校運動部活動活性化事業における30年度の派遣の考え方と全学校への配置に向けた取組みは

答 顧問に競技経験や指導経験が少なく、専門的な指導を必要とする部を優先することとしている。今後とも希望する学校については、引き続き派遣に努めたい。

問 農業のグローバル化についての県との協議状況は

答 県が輸出先の条件に合わせた農産物の生産環境整備や海外に向けた農林水産物のPRなど販路拡大を進めており、本市においても、県や関係機関と情報共有を図りながら、茶や牛肉を中心に輸出促進に向けて取り組んでいる。

問 建設工事における適正な工期設定や施工時期の平準化の取組みは

答 工期設定については、週休2日等の不稼働日を考慮した標準工期を30年1月15日から適用しており、施工時期の平準化については、これまでの単独事業の債務負担行為を活用した取組みに加え、新たに社会資本整備総合交付金事業についても、ゼロ債務負担行為を設定する取り組みを進めているところである。

問 地域医療支援病院となる市立病院として、地域医療連携の環境は整っているか

答 医療従事者等を対象とした講演会の開催や、病院訪問などを行い当院の診療体制等について説明を行うことで、地域の医療機関との顔が見える関係作りに努めているところであり、紹介率及び逆紹介率が向上してきていることから、当院が高度急性期病院として果たすべき役割について、認識いただけており医療連携の環境は整っているものと考えている。

問 ドクターカーの完全運用(365日24時間)に向けた課題と取組みは

答 24時間運用に向けては、救急医の確保が課題である。これまで各面から医師の増員に努め、365日昼間の運用に拡大したところである。今後とも、救命救急センター全体の診療体制の充実を図る中で24時間運用に向け、引き続き救急医の確保と育成に取り組んでいきたい。

問 災害廃棄物を一時集積する場所の選定についての考え方は

答 災害廃棄物の仮置き場の選定に当たっては、公共用地を原則とし、広さや収集運搬ルートを考慮するとともに、周辺環境などに配慮していき

いつでもお気軽にご連絡ください。

☆鹿児島市議会民進・無所属の会議員団☆

〒892-0816 鹿児島市山下町11番1号

TEL・FAX 099-224-7353 内線4061・4062・4063

mail:minyu-01@kagoshimashigikai.com

